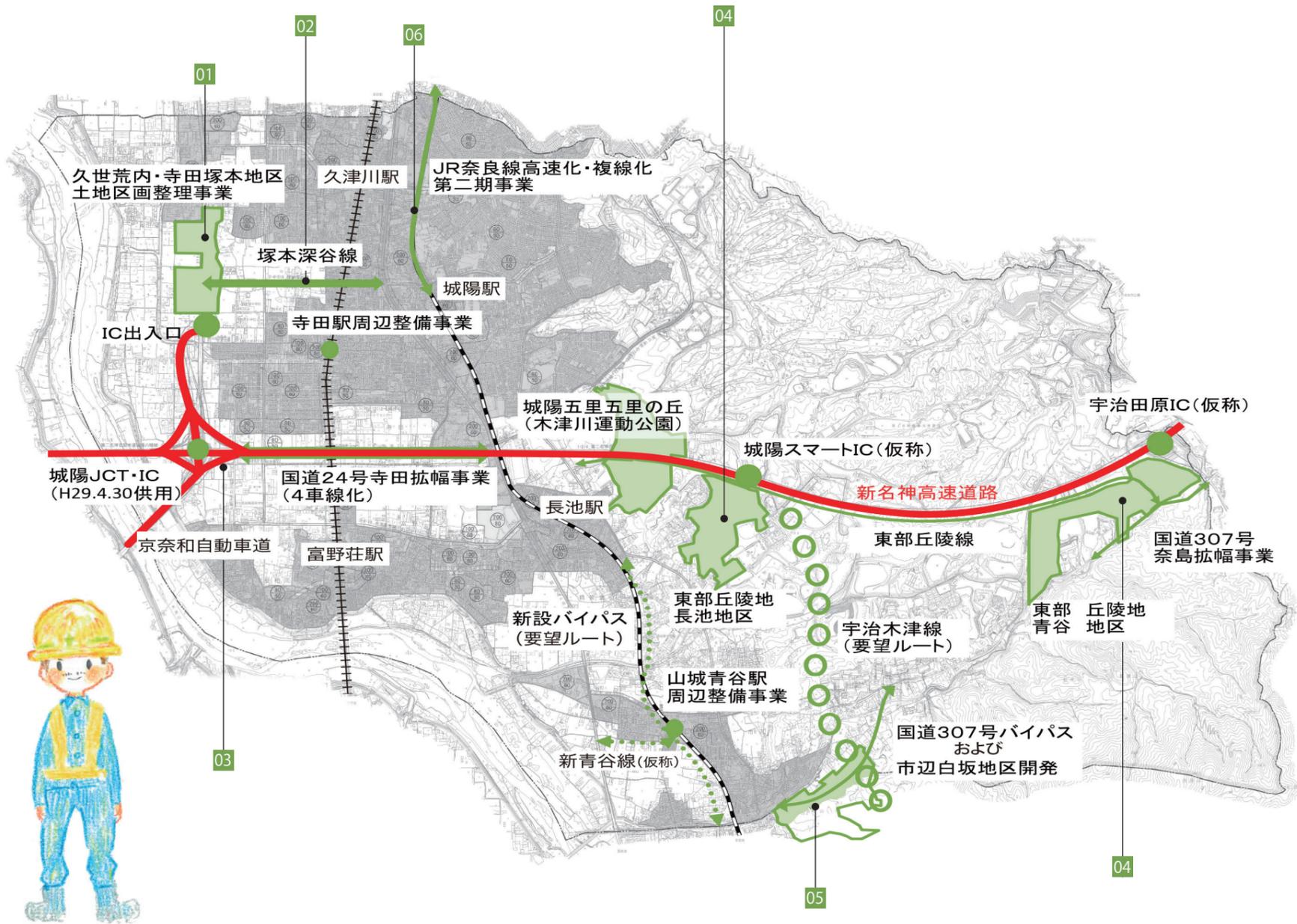


# 未来へ...

重点プロジェクト NEW城陽へ



**01** 久世荒内・寺田塚本地区土地区画整理事業：新名神高速道路城陽ICに隣接する立地条件を生かし、新たに生産と流通の拠点を整備する事業です。市が誘致する全ての区画で進出企業が決まっています。現在、造成工事中であり、完了した区画から順次地権者および進出企業に引き渡しています。

今後、多くの事業所や店舗ができ、市の活性化が期待されます。  
**02** 塚本深谷線：平成29年8月に開通した、国道24号と府道城陽宇治線（旧国道24号）を結ぶ、総延長1,350メートルの道路です。市の東西交通の強化と共に、整備が進む新市街地へのアクセス道路としての役割もあります。

**03** 新名神高速道路：平成29年4月、城陽-八幡京田辺間が開通し、京都府北端の京丹後市から南端の木津川市まで、約140キロメートルが高速道路でつながりました。平成35年度の大阪-城陽間を含む全線開通に向け整備が進んでいます。また、城陽市内では、城陽IC、宇治田原IC(仮称)に加えて、

東部丘陵地長池地区近辺に城陽スマートIC(仮称)の設置も決まりました。  
**04** 東部丘陵地長池地区・青谷地区：長池地区では、広域商圏からの集客力を生かした大規模商業施設の立地を、また、青谷地区については、インターチェンジに隣接する立地条件を生かした物流拠点の立地を目指しています。長池地区では、

アウトレットモールの開発に向け、三菱地所グループと地権者が基本合意に至り、大きく前進しました。  
**05** 京都山城白坂テクノパーク：城陽市市辺から井手町多賀にまたがる約20ヘクタールの新たな民間の工業団地です。京都府南部の経済活性化、雇用創出の新たな拠点として期待されています。

**06** JR奈良線の高速化・複線化第二期事業：市内では、新田駅から城陽駅までの区間が複線化され、京都駅から城陽駅までの全線が複線化されることになります。